

# 古河市まちづくり飛躍の元年!!



～平成24年度当初予算概要～

建設工事が進む古河名崎工業団地



古河市

# 古河市まちづくり飛躍の元年!!



古河市長 白戸仲久

古河市においては、これまで積極的に進めてきた企業誘致施策が結実し、5月に古河名崎工業団地において日野自動車株式会社古河工場がプレ稼働(KD工場稼働)することとなりました。

私は、平成24年度を「古河市まちづくり飛躍の元年」と位置付け、今後のまちづくりを2つの視点を意識し進めていきます。第1の視点は、地域経済活性化のため、日野自動車株式会社古河工場の早期完成を目指し、引き続き円滑な支援に努めます。第2の視点は、都市間競争を勝ち抜き、将来に希望がもてる都市とするため、古河市の都市としての魅力アップを図ります。

15万都市古河が「選ばれる都市」となるよう、これまでの取り組みの成果を最大限に活かし、市民の皆様や事業者などと行政が、それぞれの役割を分担しつつ、互いに連携し協力し合いながら、魅力あるまちづくりに取り組んでいく所存であります。

## 予算のポイント

平成24年度  
予算総額  
774億1,560万円

一般会計 465億1,000万円

特別会計 309億 560万円

### 歳入

- ・ 市税：個人市民税については税制改正により増額となったものの、法人市民税については景気の減退により減額、また固定資産税においても地価の下落などにより減額となり、市税全体では微減
- ・ その他一般財源：地方特例交付金や財政調整基金繰入金等が減額となり、全体で前年度比4.9%の減
- ・ 市債：合併特例債の発行額減少により、全体では前年度比7.2%の減

### 歳出

- ・ 国の子ども手当制度見直しによる事業費の減額
- ・ まちづくり交付金事業(駅西口地区)の事業完了による減額

# 平成24年度 施策体系別主要事業

## ◎ 互いに支え合う福祉と健康の“社会”づくり ～福祉健康～

- (新)高齢者対策の充実(救急医療情報カプセル配布・ひとり暮らし高齢者対策)
- (新)古河市障害者基本計画の策定
- (新)児童クラブ施設の充実(諸川小学校)
- 保育施設の充実(第4保育所改築) 等

## ◎ 健やかな市民と文化を育む“人”づくり ～教育文化～

- (新)自然科学研究推進事業
- (新)学習生活環境の向上
- 総合的文化施設の整備推進
- 学校給食センター建設の推進 等

## ◎ 活力と元気にあふれた人の集まる“魅力”づくり ～産業労働～

- (新)古河マラソン大会開催の推進
- (新)新たな観光資源の発掘
- 道の駅の整備推進 等

## ◎ 市民主体の行政とみんなで築く“地域”づくり ～コミュニティ・行政～

- (新)若者層による地域活性化活動を支援
- 地域づくり活動の支援
- コミュニティ活動の育成・強化 等

## ◎ 自然と共生した安全で快適な“暮らし”づくり ～生活環境～

- 防災関連事業の実施
- 自主防災組織活動への支援
- 太陽光発電システム等導入への助成 等

## ◎ みらいを見据えた都市の“基盤”づくり ～都市基盤～

- デマンド交通ぐるりん号の運行
- 筑西幹線道路の整備
- 古河総合公園の充実 等

# 主な事業の概要

## 互いに支え合う福祉と健康の“社会”づくり



### (1) 待機児童の解消

1,768万円

子ども福祉課

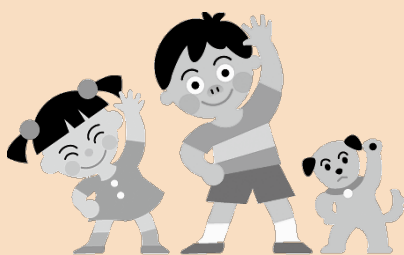
公立保育所7ヶ所に各1名の保育士を配置し、児童の受け入れ態勢を充実させ、待機児童解消に努めます。

### (2) 子宮頸がん<sup>けい</sup>予防ワクチン接種への助成

3,046万円

健康推進課

市内在住の中学1年生の女子生徒に対し、子宮頸がん予防ワクチンの無料接種券を交付し、接種を促すことにより、将来的な子宮頸がんの発症を予防します。



### (3) 中学生までの医療費助成の実施

1億3,346万円

保険年金課

茨城県の医療福祉費支給制度の対象とならない小学校3年生までの小児および小学校4年生から中学生までに対し、古河市独自の制度である医療費助成(マル古)による医療費の一部助成を行い、子育てにかかる経済的負担を軽減します。



新規

### (4) 救急医療情報カプセルの配布

100万円

高齢福祉課

高齢者本人の既往歴や緊急連絡先などを記載できる「救急医療情報カプセル」および保管場所を示すシールを配布することで、緊急搬送時および災害時における高齢者の安全安心の向上に努めます。



新規

### (5) ひとり暮らし高齢者対策の充実

422万円

高齢福祉課

ひとり暮らし高齢者世帯の実態を把握・システム化することで、高齢者の見守り活動に活用するとともに、緊急時および災害時における支援体制の充実強化を図ります。

## (6) 保育施設の充実 3億984万円

子ども福祉課

老朽化が著しい第4保育所について移転改築工事を実施し、安心安全な保育環境を整え、より一層の保育サービスの充実を図ります。



## (7) 児童クラブ施設の充実 4,229万円

子ども福祉課

新規

諸川児童クラブは施設が老朽化しているとともに利用児童が増加しており、定員を超えて受け入れをしています。このような状況を解消するために新施設を学校校内に建設し、児童の安全を確保するとともに安定した運営を図ります。

## (8) 古河市障害者基本計画の策定 210万円

障害福祉課

新規

現計画は平成24年度が最終年度となるため、計画期間を平成25年度から平成29年度までとする計画を新たに策定し、障害者福祉の充実を図ります。



## (9) 肝炎ウイルス検診の充実 881万円

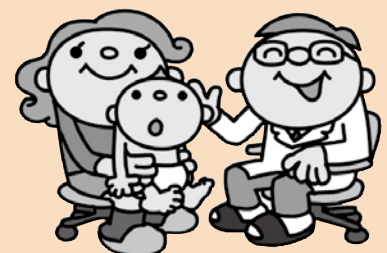
健康推進課

健康増進法に基づき、従来より希望者の方に実施してきた肝炎ウイルス検診を継続実施するとともに、平成24年度は、新たに今まで一度も受診していない40歳～65歳までのうち、5歳刻みの節目年齢の方を対象に無料で実施します。

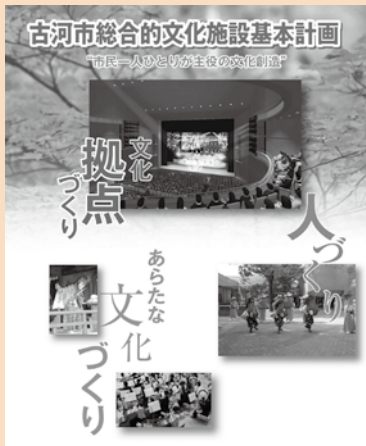
## (10) ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種への助成 1億15万円

健康推進課

乳幼児期に感染率の高いインフルエンザ菌b型(ヒブ)や肺炎球菌による重症感染症を予防するため、生後2ヵ月から4歳までの乳幼児を対象に全額公費負担で予防接種を実施し、乳幼児の感染予防を徹底するとともに、保護者の経済的負担を軽減します。



# 健やかな市民と文化を育む“人”づくり



\*合併特例振興基金充当事業



チャレンジ事業実施の様子

\*合併特例振興基金充当事業



\*合併特例振興基金充当事業

**新規**

## (1) 総合的文化施設の整備推進

2億1,604万円 総合的文化施設推進室

平成23年度に策定した「古河市総合的文化施設基本計画」を基に、平成24年度は設計業務、管理運営計画策定業務を行います。設計および管理運営計画の策定にあたっては、新たに設置した「古河市総合的文化施設建設協議会」において協議・検討し、経過等を広報・HP等で報告しながらまとめていきます。

## (2) 学校づくりチャレンジ事業の実施

500万円

指導課

児童生徒の学力向上に積極的に取り組む学校、または特色を生かした創意あふれる学校運営を通して児童生徒の学力向上を目指す学校に対して、学校づくりチャレンジ交付金を交付し、活動を奨励します。

## (3) 自然科学研究推進事業

500万円

指導課

地域素材を生かした体験型学習や理数教育の研究推進に取り組むこと、または科学教室や科学研究・発明工夫の作品づくりを積極的に取り組むことなどを実施する学校に対して、自然科学研究推進のための交付金を交付し、活動を奨励します。

## (4) 英語圏体験学習の実施

849万円

教育総務課

中学生を対象に英語圏へ派遣し、ホームステイや学校訪問などの体験学習を通じて国際文化への理解を深め、豊かな国際感覚を持つ人材を育成します。

## (5) 学習生活環境の向上 1億3,708万円

教育総務課

新規

夏の猛暑による熱中症などへの対策として、小中学校の普通教室に1教室あたり4台を標準として扇風機を設置し、学習生活環境の向上を図ります。

また、暖房設備が、経年劣化により老朽化したため、年次計画で更新します。

- ・暖房設備更新(24~25年度)  
平成24年度実施予定校  
下大野小・上大野小・駒羽根小  
西牛谷小・水海小・下辺見小  
八俣小・総和北中・総和南中学校

## (6) 小学校の改築 2億6,218万円

教育総務課

○古河第一小学校は、老朽化のため改築し、安全安心な教育環境を整備するため、平成23年度に用地測量および基本設計を行い、平成24年度は実施設計を行います。

○古河第六小学校は、改築工事を引続き実施します。

校舎:建築面積 5,667.22㎡

鉄筋コンクリート造 地上3階建

屋内運動場:建築面積 1,216.92㎡

鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階

古河第六小学校 完成予想図



## (7) 学校施設の耐震化 2,479万円

教育総務課

震災を踏まえ、積極的に建物の耐震補強工事を実施し、学校施設の安全性確保と緊急避難場所機能の向上を図り、児童・生徒と地域住民の安全性を高めます。平成24年度は小堤・釈迦・名崎小学校・古河第一中学校で耐震補強工事のための実施設計を行います。

<参考>

平成23年度への前倒し実施校  
古河第七小・上大野小・駒羽根小  
名崎小(北校舎)・西牛谷小学校

## (8) 学校給食センター建設の推進 2億2,370万円

学校給食保健課

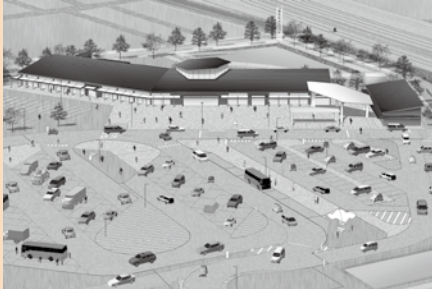
老朽化の著しい共同調理3施設を統合し、安全安心な学校給食の提供や、効率的な施設運営を図るため、現総和学校給食センター用地を拡張して、新学校給食センターを建設整備します。平成24年度は建設のための基本設計、実施設計などを行います。

(仮称)古河市新学校給食センター 完成予想図



# 活力と元気にあふれた人の集まる“魅力”づくり

## 道の駅 完成予想図



「道の駅 まくらがの里こが」(公募名称)

### (1) 道の駅の整備推進

12億2,340万円

道の駅推進室

古河市の道の駅は、「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域の連携機能」という道の駅の3つの機能を持つ施設にとどまらず、地域産業の活性化、観光振興拠点、市民の交流の場としての機能を併せ持ちます。古河市の新しい顔となる施設として、平成25年7月頃のオープンを目指して整備を進めています。

### (2) 企業立地の支援

1,426万円

名崎工業団地推進室

古河名崎工業団地では日野自動車(株)古河工場の建設が進められており、第一ステップとしてKD工場が5月稼働する予定です。

地域経済の活性化や雇用機会の拡大を図る視点から、新たな優遇制度の運用などにより工場の立地を促進するとともに、従業員の定住促進や関連企業の誘致に努めていきます。



建設工事が進む古河名崎工業団地

\*合併特例振興基金充当事業

### (3) 地域農業の活性化を推進

1,000万円

農政課

地域農業の活性化を図るため、認定農業者および農業者団体の農業用機械購入に対し、費用の一部を補助します。

### (4) 「お休み処 <sup>さかちよう</sup> 坂長」のオープン

879万円

商工政策課

「お休み処 坂長」は、貸室・ギャラリー・小ホール・展示室のほか、飲食・物販を併設する施設として、市民の憩いの場や来街者の回遊拠点として、平成24年4月下旬のオープンを予定しています。オープン後は、定期的に朝市等のイベントを行うなど、まちの賑いづくりに寄与する施設運営を目指します。



「お休み処 坂長」



## (5) 古河マラソン大会開催の推進 800万円

企画課

新規

古河市をアピールする新たな取り組みとなる古河マラソン大会の開催に向けて、関係する機関や団体等で組織する開催準備委員会による協議検討や、マラソンコース設定の調査などを実施します。

## (6) 古河の優れた産品をブランド化 851万円

観光振興課

古河ブランド認証制度により市内の優れた産品をブランド認証し、展示・販売や各種イベントでPRすることで経済活性化を図ります。

◎現在14品目を認証。

\*合併特例振興基金充当事業



## (7) 新たな観光資源の発掘 100万円

観光振興課

新規

現在建設中の道の駅を起点とした新たな観光資源の発掘と、その活用方策を含めた一体的な調査を行うことにより、古河市の新たな魅力づくりと観光都市古河市の基盤づくりの一助とします。

\*合併特例振興基金充当事業

## (8) イベント事業への支援 4,987万円

観光振興課

昨年においては、震災の影響により、桃まつりや花火大会等が中止となりましたが、今年度は更なるイベント内容の充実を図り、祭り・イベントなど年間を通して開催し、より一層の市内商工業の活性化および観光の振興を図ります。

\*合併特例振興基金充当事業



## (9) 銘柄産地育成への支援 630万円

農政課

農協、生産者団体と協力しながら市場調査、消費宣伝活動などを行い、産地体制の確立を図ります。

\*合併特例振興基金充当事業

- ・銘柄産地品目  
カボチャ、バラ、にんじん
- ・銘柄推進産地品目  
ブロッコリー、サニーレタス、ニガウリ

# 市民主体の行政とみんなで作る“地域”づくり

**新規**

## (1) 若者層による地域活性化活動を支援 41万円

企画課

若者層による地域活性化を推進するため、普段は行政やまちづくり団体と接点の少ない若者層からの企画提案を受け、地域活性化に資する活動に対して支援(1件あたり最高5万円の交付金、他)を行います。

\*合併特例振興基金充当事業



地域コミュニティ設立意見交換会の風景

## (2) コミュニティ活動の育成・強化 1,429万円

自治振興課

地区コミュニティに、コミュニティ活動助成金交付要綱に基づき財政的な支援を行います。また、地区コミュニティの未設立地区へは、調査研究、意見交換を行い、設立にむけた意識の啓発を行います。

## (3) 市民主体のまちづくりを支援 156万円

自治振興課

市民活動団体の活性化のため、パソコンなどを備えた市民活動支援センターを地域コミュニティ団体を中心に開放するなど、市民主体のまちづくりを支援します。

\*合併特例振興基金充当事業



地区事業(夏祭り)の様子

## (4) 地域づくり活動の支援 1億5,184万円

自治振興課

市民が主体となった住民自治のまちづくりの推進に向け、自治組織に対する財政的支援および助成を行います。

## (5) 公共施設の適正配置を調査・検討 400万円

企画課

庁舎を含む市公共施設及び市有財産(不動産)の将来に向けた適正配置・利用計画策定のため、現状を調査し、課題を整理します。

# 自然と共生した安全で快適な“暮らし”づくり

## (1) 防災関連事業の実施

1,716万円 危機管理課・消防保安課

震災を踏まえ、危機管理体制の充実・強化を図るとともに、耐震性貯水槽について新たに設置するなど消防施設の充実も図ります。

## (2) 太陽光発電システム等導入への助成

2,000万円 環境政策課

地球温暖化防止のため、家庭部門における二酸化炭素排出量の削減などを目的として、住宅用環境配慮型設備(太陽光発電システム・高効率給湯器)導入者に対し補助金を交付します。

## (3) 磯部都市下水路の整備

1億2,802万円 下水道総務課

### ○整備箇所

東牛谷地内を中心とする東北新幹線東側十間通りから国道125号線までの区間1,567m

## (4) 自主防災組織活動への支援

168万円 危機管理課

自主防災組織活動の活性化を図るために、自主防災組織の結成時に結成事業補助金、資機材整備事業補助金、活動時に運営事業補助金を交付します。

## (5) 木造住宅耐震診断及び訪問相談の実施

146万円 建築指導課

地震の際の住宅・建築物の倒壊などによる被害の軽減や市民の安全を図るために、木造住宅耐震診断及び訪問相談を実施し、耐震に関する知識の向上を図るとともに、耐震改修の促進を図り安全なまちづくりを推進します。

### <参考>

平成23年度補正予算措置  
(24年度実施)

- ・ 地域防災計画の修正
- ・ 非常用機器の更新など

- ・ 太陽光発電システム  
4万円/1kW 上限12万円
- ・ 高効率給湯器  
エコキュート~4万円  
エコジョーズ・エコフィール  
~1万円

- ・ 23年度  
用地測量、土地評価
- ・ 24年度  
事業用地の確保



防災訓練の風景

# みらいを見据えた都市の“基盤”づくり

\*合併特例振興基金充当事業

○H23年度利用状況

・デマンド交通

利用登録者数(H24.3月末現在)  
9,028人

利用者数(H24.3月末現在)  
29,279人

・ぐるりん号

利用者数(H24.3月末現在)  
138,885人

期間：18年度～24年度

区間：柳橋～恩名地内

延長：6.2km

幅員：25.5m 4車線



筑西幹線道路～  
柳橋より東方面を望む



桃まつり風景

## (1) デマンド交通・ぐるりん号の運行 8,312万円

総務課

デマンド交通「愛・あい」号は、総和・三和地区の市民を対象に平成20年7月から有料運行しています。また、循環バス「ぐるりん号」は、平成24年4月から市公共交通サービスの公平性を確保するために運賃制度を導入します。市民の皆様の日常生活の支えとなる「地域の足」として、利便性の向上を図りながら運行していきます。

## (2) 筑西幹線道路の整備 21億1,817万円

都市計画課

古河名崎工業団地へのアクセスをはじめ、県西地区の骨格となる幹線道路として、茨城県と一体となって整備を推進しています。平成23年度末見込みでは用地取得率が98%に達しており、平成24年度末の開通を目指します。また、新4号国道西側への延伸に向け、概略設計を行います。

## (3) 仁連江口線整備の推進 5,528万円

都市計画課

三和地区内の既存主要都市計画道路(十間通り)を江口・尾崎方面へ延伸し整備することにより、JR古河駅から市役所三和庁舎等公共施設や、古河名崎工業団地、そして八千代町、つくば市方面からのアクセスの向上を図ります。

## (4) 古河総合公園の充実 1億4,609万円

公園緑地課

古河総合公園のパークフロント地区(北エリア)を多目的広場として整備します。また、「日本一の花桃の里」をめざし、桃林の再整備を3年計画(H24～H26)で実施します。

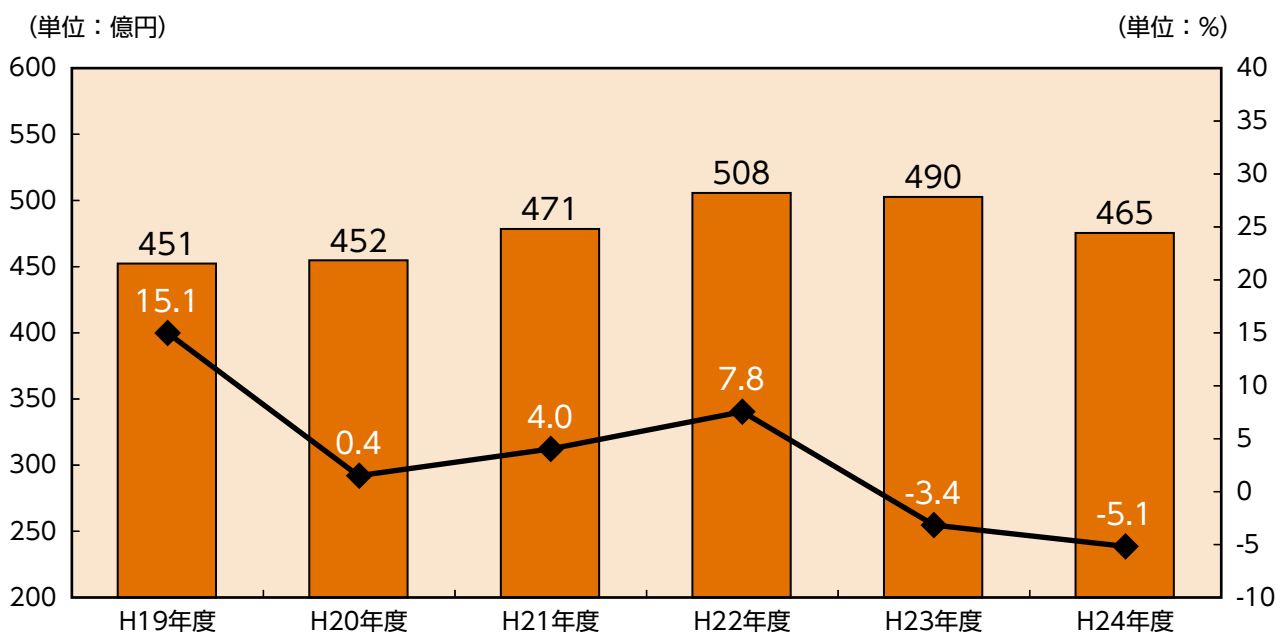
# 会計別予算

| 会 計 名            |                  | 本年度予算      | 前年度予算      | 比 較        | 増減率(%)     |
|------------------|------------------|------------|------------|------------|------------|
| 一 般 会 計          |                  | 465億1000万円 | 490億2000万円 | △25億1000万円 | △5.1       |
| 特<br>別<br>会<br>計 | 国民健康保険(事業勘定)     | 155億9250万円 | 151億9500万円 | 3億9750万円   | 2.6        |
|                  | 国民健康保険(直診勘定)     | 8080万円     | 7710万円     | 370万円      | 4.8        |
|                  | 古河福祉の森診療所        | 2億 450万円   | 2億 600万円   | △150万円     | △0.7       |
|                  | 後期高齢者医療          | 10億 400万円  | 9億7950万円   | 2450万円     | 2.5        |
|                  | 介護保険(保険事業勘定)     | 75億円       | 70億3550万円  | 4億6450万円   | 6.6        |
|                  | 介護保険(介護サービス事業勘定) | 5920万円     | 6250万円     | △330万円     | △5.3       |
|                  | 公共下水道事業          | 38億7080万円  | 42億9430万円  | △4億2350万円  | △9.9       |
|                  | 農業集落排水事業         | 8億9570万円   | 7億6640万円   | 1億2930万円   | 16.9       |
|                  | ゴルフ場事業           | 1億1360万円   | 1億1260万円   | 100万円      | 0.9        |
|                  | 古河駅東部土地区画整理事業    | 11億3200万円  | 8億5280万円   | 2億7920万円   | 32.7       |
|                  | 片田南西部土地区画整理事業    | 2億8880万円   | 2億7670万円   | 1210万円     | 4.4        |
|                  | 公共用地先行取得         | 1億6370万円   | 1億4000万円   | 2370万円     | 16.9       |
|                  | 計                | 309億 560万円 | 299億9840万円 | 9億 720万円   | 3.0        |
|                  | 一般会計・特別会計合計      |            | 774億1560万円 | 790億1840万円 | △16億 280万円 |
| 水<br>道<br>会<br>計 | 収益的収入            | 24億3409万円  | 24億3336万円  | 73万円       | 0.0        |
|                  | 収益的支出            | 21億6963万円  | 22億1127万円  | △4164万円    | △1.9       |
|                  | 資本的収入            | 8億3555万円   | 5億9070万円   | 2億4485万円   | 41.5       |
|                  | 資本的支出            | 19億5474万円  | 18億 389万円  | 1億5085万円   | 8.4        |

※水道事業会計において資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額11億1,919万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額6,476万円、過年度分損益勘定留保資金10億5,443万円で補てんします。

## 一般会計の推移

■ 当初予算額 ◆ 伸び率(対前年比)



# 平成24年度 予算総額

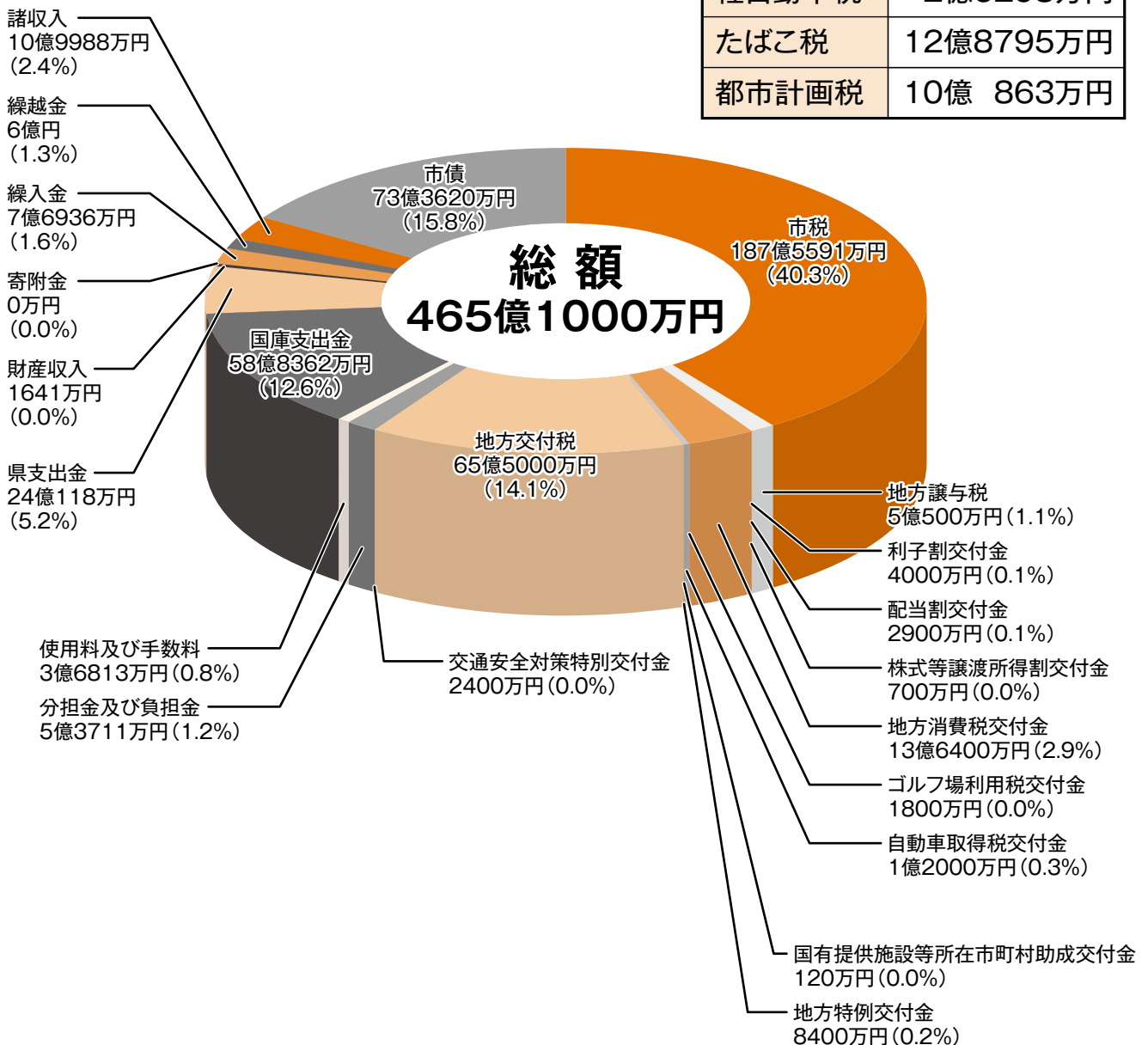
予算の内訳

**一般会計 465億1,000万円**

**特別会計 309億 560万円**  
(水道会計除く)

**計 774億1,560万円**

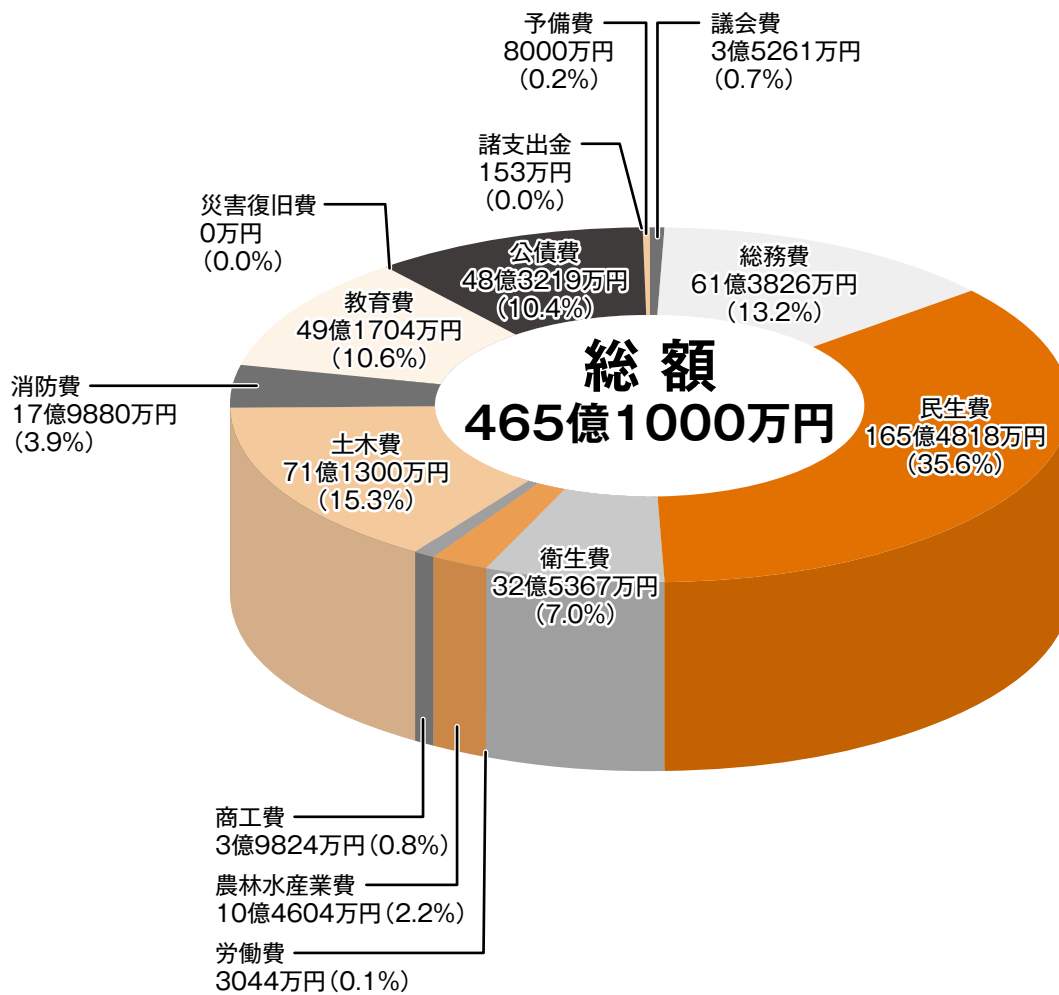
## 一般会計 歳入



## 市税の収入割合

|       |           |
|-------|-----------|
| 個人市民税 | 69億3367万円 |
| 法人市民税 | 15億9571万円 |
| 固定資産税 | 76億6697万円 |
| 軽自動車税 | 2億6298万円  |
| たばこ税  | 12億8795万円 |
| 都市計画税 | 10億 863万円 |

## 一般会計 歳出



## 議会費

議会活動のための経費

## 総務費

住民登録や交通安全対策、選挙などのための経費

## 民生費

保育園や障害者、高齢者などの福祉のための経費

## 衛生費

ごみ処理や病気の予防などのための経費

## 農林水産業費

農業振興のための経費

## 商工費

商業・工業・観光振興のための経費

## 土木費

道路や河川、公園などの整備・維持管理のための経費

## 消防費

消防や救急活動、防災関係のための経費

## 教育費

小・中学校や公民館などの運営のための経費

## 公債費

市債(借入金)の返済のための経費

\*諸支出金、公債費以外の経費については、それぞれ職員人件費を含みます

# 市の貯金

平成23年度末(見込)

## 51億436万円

(市民1人あたり 3万5419円)

\*平成24年4月1日現在の総人口  
14万4114人で計算しています。

| 年 度    | 1人あたり基金残高 |
|--------|-----------|
| 平成19年度 | 1万9833円   |
| 平成20年度 | 1万5221円   |
| 平成21年度 | 3万5523円   |
| 平成22年度 | 4万 12円    |
| 平成23年度 | 3万5419円   |

## 各基金の残高

| 基 金 名       | 平成23年度末見込        |
|-------------|------------------|
| 財政調整基金      | 15億4836万円        |
| 減債基金        | 2億4825万円         |
| 公共施設整備基金    | 1億4317万円         |
| ふるさと振興基金    | 3023万円           |
| 新駅設置準備基金    | 3949万円           |
| 教育振興基金      | 964万円            |
| 地域福祉基金      | 3290万円           |
| 自治振興基金      | 9億8181万円         |
| 合併特例振興基金    | 18億7086万円        |
| その他         | 1億9965万円         |
| <b>基金合計</b> | <b>51億 436万円</b> |

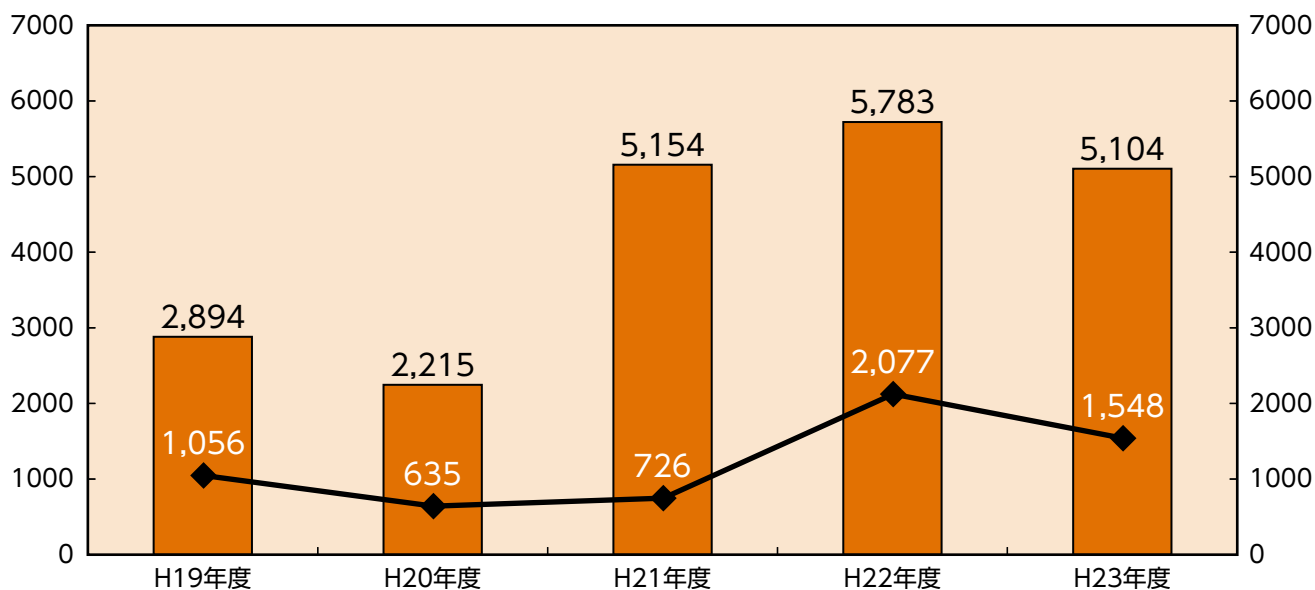


## 基金残高の推移

(単位：百万円)

■ 基金残高 ◆ 財政調整基金残高

(単位：百万円)



※H23年度は決算見込。



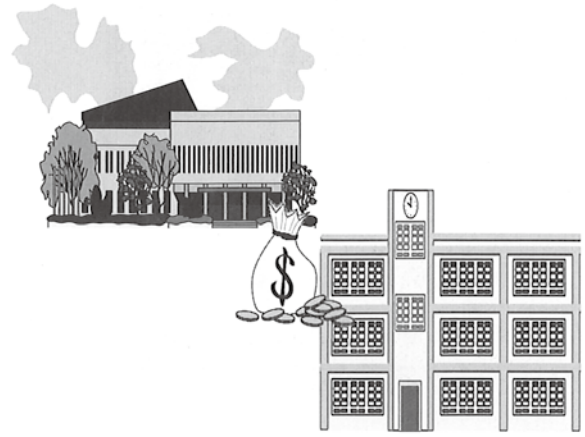
# 市の借金

平成24年度末(見込)

## 979億8676万円

(市民1人あたり 約68万円)

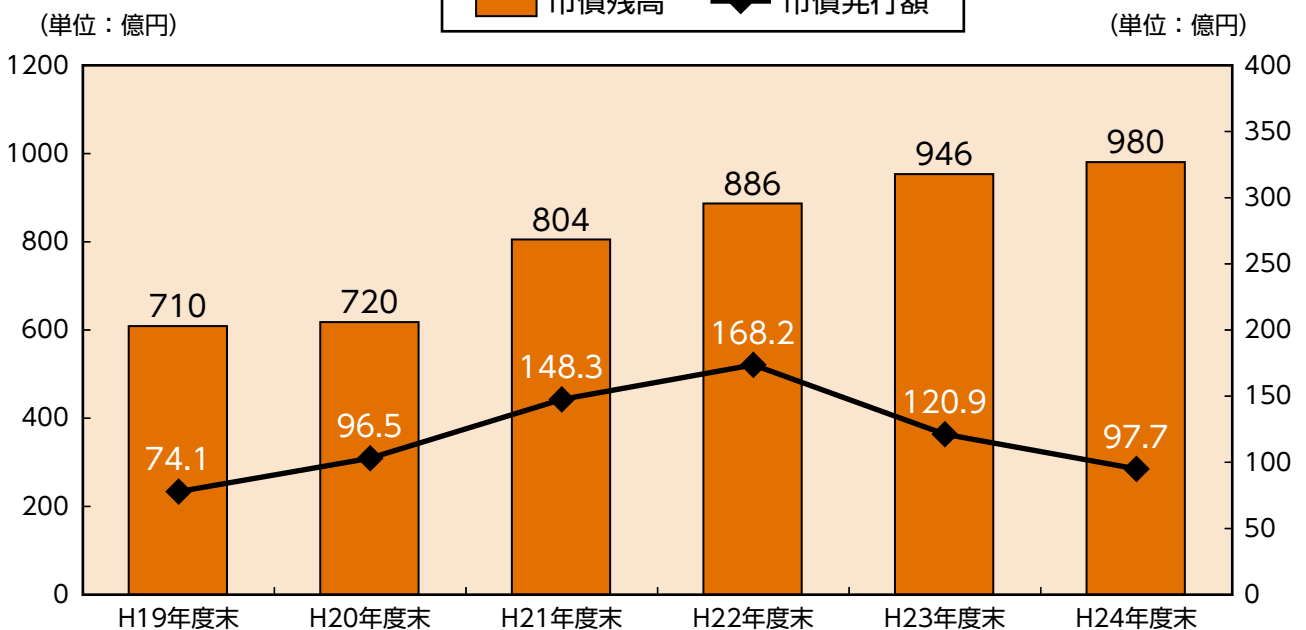
\* 平成24年4月1日現在の総人口  
14万4114人で計算しています。



## 会計別市債残高

| 会計区分   |               | 平成22年度末    | 平成23年度末見込  | 平成24年度末見込  |
|--------|---------------|------------|------------|------------|
| 一般会計   |               | 501億6746万円 | 564億 341万円 | 598億2082万円 |
| 特別会計   | 公共下水道事業       | 214億8905万円 | 206億7680万円 | 197億2430万円 |
|        | 農業集落排水事業      | 52億4999万円  | 53億 162万円  | 52億7132万円  |
|        | 古河駅東部土地区画整理事業 | 9億3343万円   | 14億2855万円  | 21億2352万円  |
|        | 片田南西部土地区画整理事業 | 5億2430万円   | 7億2727万円   | 9億4786万円   |
|        | 公共用地先行取得      | 15億3179万円  | 14億1252万円  | 12億6358万円  |
| 水道事業会計 |               | 87億3743万円  | 86億6775万円  | 88億3536万円  |
| 合計     |               | 886億3345万円 | 946億1792万円 | 979億8676万円 |

## 市債残高の推移



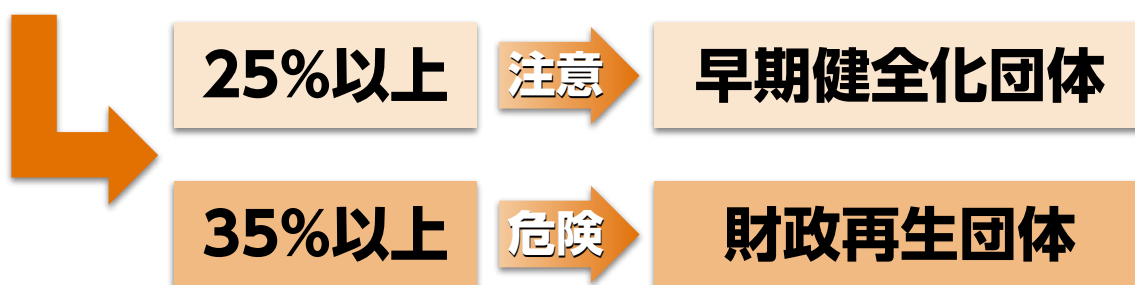
※H23年度は決算見込、H24年度は当初予算額。

# 財政の健全性

## I. 実質公債費比率

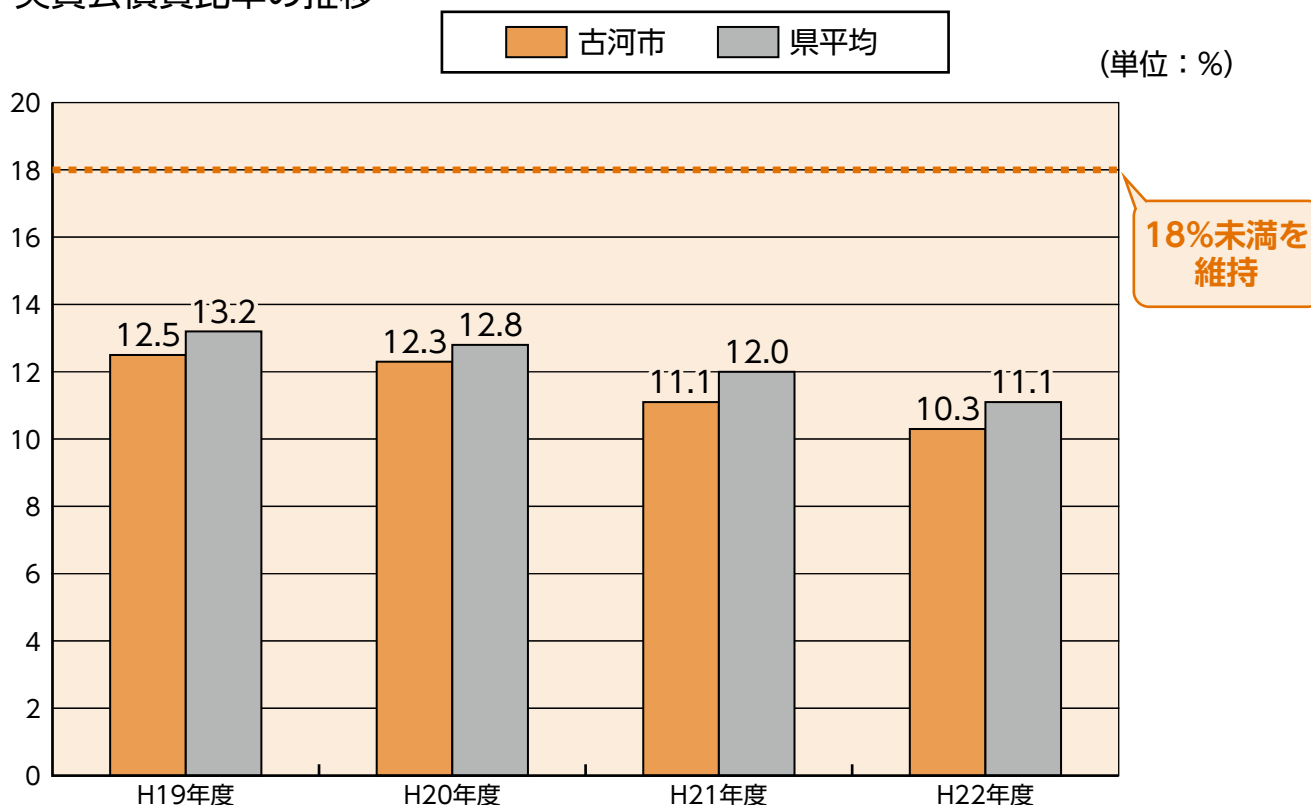
### 実質公債費比率とは

実質的な公債費（市債の返済）が、財政に及ぼす負担を表す指標です。  
3カ年平均の数値で表します。



- 古河市は「10.3%」であり、早期健全化ライン(25%)を下回っています。
- 市債発行に際し、同意制から許可制への目安となる基準「18%未満」を維持するよう努めます。

### 実質公債費比率の推移



## Ⅱ. 将来負担比率

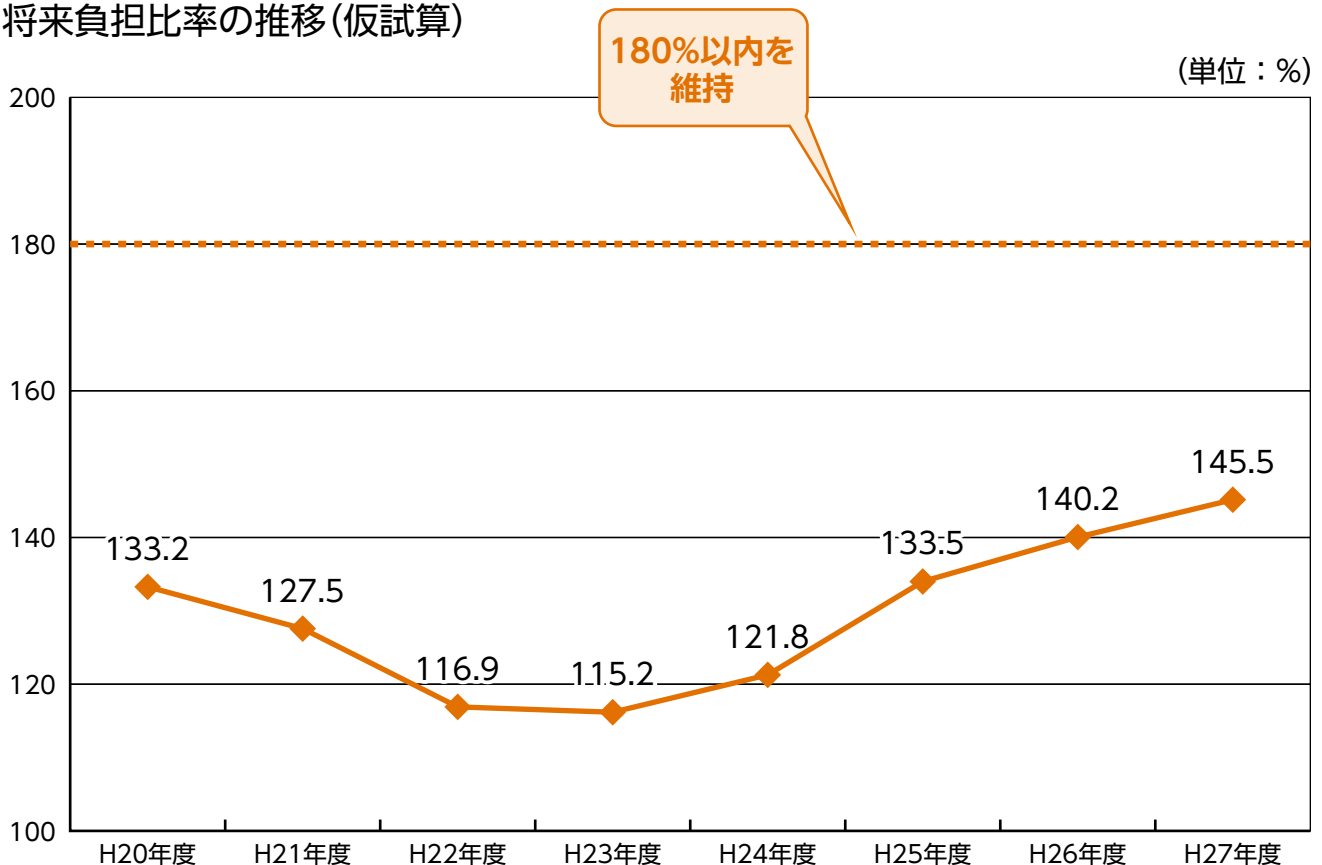
### 将来負担比率とは

市などの自治体が将来支払う可能性のある負債の一般会計等に対する比率をいいます。



- 古河市は、平成23年度(見込)においては「115.2%」であり、早期健全化ライン(350%)を下回っています。
- 古河市は、第2次古河市行政改革大綱において「早期健全化ライン 350%の約2分の1(180%)以内」を維持することとしています。

将来負担比率の推移(仮試算)



※H23年度以降は、一定の要件に基づき試算しています。

## ○予算を「家計」にたとえると？

一般会計の当初予算(465億1,000万円)を年間の収入が500万円の家計に置き換えて説明します。

給与のうち、基本給の多くが市民の皆さんが納めた市税です。諸手当のうち、地方交付税はどの市町村も標準的なサービスを受けられるよう地域間格差を解消するため、国から交付されるものです。



## こが家・1カ月の家計簿

### 《収入》

|                          |           |
|--------------------------|-----------|
| 給与                       | 37万1,300円 |
| うち基本給<br>(市税などの自主財源)     | 18万8,200円 |
| 諸手当<br>(地方交付税、国・県支出金など)  | 18万3,100円 |
| 銀行からの借入<br>(市債)          | 4万3,400円  |
| 貸したお金の返済金<br>(貸付金元利収入など) | 1,300円    |
| 計                        | 41万6,000円 |

### 《支出》

|                                     |           |
|-------------------------------------|-----------|
| 家族の医療費<br>(扶助費)                     | 8万7,000円  |
| ローンの返済<br>(公債費)                     | 4万3,200円  |
| 食費<br>(人件費)                         | 7万1,800円  |
| 光熱費や通信費など<br>(物件費など)                | 5万4,000円  |
| 家・車・家電製品等の修理、買換え<br>(維持補修費、普通建設事業費) | 6万900円    |
| 家族への仕送り<br>(繰出し金、補助費)               | 9万8,400円  |
| 貯金や友人などに貸すお金<br>(積立金、貸付金)           | 700円      |
| 計                                   | 41万6,000円 |



家族の医療費(生活保護費などの扶助費)、ローンの返済(公債費)、食費(人件費)の3つは、「義務的経費」と呼ばれています。この比率が高いと、家計にあまり余裕がないこととなります。ちなみに古河市の歳出総額に占める義務的経費の割合は48.6%となっています。